



# “さくらの会”便り

発行責任者  
 会長 栗野勝彦  
 編集責任者  
 世話役代表 上原 栄  
 Tel.0773-22-7859

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

## 本格的にグループ訓練が



## ゲームや調理を取り入れて

7月3日(日)・10日(日)の2日間にわたり、ゲームの計画をたてました。

10人を3グループに分けて、それぞれのグループにおいて、進行、記録、発表者の担当を決めて、ゲームは何にするのか、ルールはどうするのか等を計画しました。

7月17日(日)は、計画したトランプゲーム、しりとりを各グループで計画した内容で実行に移しました。

ゲームをした後、自分が良かったところ、出来なかったところ等、自分が気づいたこ



とを記録しました。

7月31日(日)・8月7日(日)は交流プラザ「クッキングルーム」にて、調理計画・実習。

焼き芋、焼きそば、スパニッシュオムレツ、キノコいっぱいオムレツを調理し、楽しい試食会となりました。

8月21日からは外出計画・実地訓練と

なり、訓練は後半となり追い込みです。

12月18日の最終日まで訓練生、スタッフ一同頑張りますので、皆様のご支援をお願い致します。

### スタッフ感想

先生方が障害者扱いでなく1個人

としての対応が素晴らしかった。

その人によって、得意分野があり、得意な事の解答の正確さに驚きました。

質問によっては、脳をフル回転させるためか、疲れたり集中力に欠けるんだと思います。

70歳を超えている私には、難問もあり、答えられないと感じたことも・・・

初めて見るテストの数々、支援センターでもできないのがないかと興味津々でした。 【S・O】

## スタッフ感想

今回、参加させて頂いたのは、両丹日日新聞の記事や病院に送付された便りを拝見させて頂き、興味を持ったのがきっかけです。高次脳機能障害の方が、地域でどんな事に困っているか、それに対してセラピストとして、地域でどのような取り組みをしていけば良いかなど、皆様と考えて行きたいと思います。

このような取り組みが、今後、福知山から京都府北部へと繋がって行くことを期待しています。



【作業療法士 E・F】

初めてのリハビリ訓練に参加。最初はどのようにかと迷いましたが参加して良かったと思います。

本人が出来そうな事でも、みんな私がしてましたが、この機会に少しでもと思い、一番困っているお金の使い方を少しつき放して、本人自身が農協に行き支払いをして、日々の小遣い帳を付けることに挑戦していますが・・・なかなかです。本人が面談している間、他の家族との交流。同じ思いを共有する時間が持てて良かったです。

【当事者家族 A・Y】

OTさん達の優しいまなざしで話される姿にホッとしました。私は耳が遠いので・・・特においては、静かな語り掛けの対応できないだろうと思った。

当事者さんは、経験のない時間を過ごされて、大変な疲れだろうなあ・・・と思いました。家族の方「がこれも体験です」とおしゃって少しホッとしました。

OTさん達の仕事大変ですね。日曜日の休日を動かれる姿に「ありがたい」感謝です。

【K・K】



お知らせ（別紙チラシ参照）

# 第17回脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会

高次脳機能障害（事故・脳卒中など）  
退院後の人間を支える

講演「高次脳機能障害とともに生きる」  
医療・福祉・家族会によるリレートーク

【講師】 エスポアール出雲クリニック  
理事長・院長 高橋幸男 先生

【日時】 平成28年10月30日（日）  
午後1時15分～午後4時

【場所】 ハピネス福知山

